

## 「成人移行期支援におけるニーズ調査～家族から見た課題～」

神奈川県立こども医療センター 母子保健推進室

【目的】小児専門病院 A 病院の相談窓口で成人移行相談をした患者家族に質問調査を行い、相談の評価及び家族のニーズを明らかにする。

【方法】対象:2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に A 病院相談窓口で成人移行相談をした患者家族 71 人

調査方法:Google フォームを用いた質問調査。倫理的配慮:無記名で回答の有無により不利益を被らないことを説明し、同意を得た。院内倫理委員会の承認を得て実施。

項目: ①属性②成人医療機関への移行状況、情報収集先、移行時に心配だった項目、移行に取り組み始めた年齢、初めて成人医療機関にかかった年齢③相談窓口の相談で移行準備が進んだか、相談姿勢の配慮について④自由意見

【結果】71 通郵送し、25 人回答 (回答率 35.2%)

①属性:15～30 歳 中央値 18 歳 診療科:1 診療科 9 人 (36%)、2 診療科以上 16 人 (64%)

障害者手帳有 19 人 (76%) 無 6 人 (24%) 医療ケア有 6 人 (24%) 無 19 人 (76%)

②成人医療機関への移行状況 完了 14 人 (56%) 未完了 11 人 (44%) 情報収集先 主治医 8 人インターネット 5 人 移行時心配だったこと「通院しやすい病院が見つかるか」「現在の治療が継続できる病院が見つかるか」各 23 人 (92%)「治療内容が的確に引きつがれるか」22 人 (88%)「子が新しい病院と医師に慣れるか」10 人 (40%)「保護者が新しい病院と医師に慣れるか」「医療費の自己負担の増加」各 4 人 (各 16%) 移行に取り組み始めた年齢、初めて成人医療機関にかかった年齢は共に 18 歳が一番多かった。

③相談窓口の相談で移行に向けて準備が進んだか はい 12 人 (48%) いいえ 13 人 (52%)

不足していた情報、あったらよかった支援:転院した人の情報、候補の病院をいくつか知りたかった、情報が古い、担当者によって差がある等

④成人移行についての意見、要望(抜粋)「具体的な病院名を挙げてほしい」「病院を選ぶ基準がわからない」「一から探すことが大変だった」「障害者にもっと手厚く対応してほしい」「医療機関リストをもらったが、探し方がわからなかった」「安心してスムーズに移行してもらえよう対応していただいた」「大変お世話になりありがたかった」「どこで入院を受け入れてくれるか不安」

【考察】年齢は 18 歳が中央値で、高校卒業年齢が節目であることが推測された。小児専門病院の通院患者は多様な疾患をもつ患者が多く、2 診療科以上受診が 6 割を超え、障害者手帳所持も 7 割を超えていた。成人医療機関への移行は約半数が完了しており、情報収集先は主治医が最も多かった。相談窓口での相談により移行期支援の準備が進んだ患者と「診療科数」「手帳所持がなし」の項目を  $\chi^2$  二乗検定で解析したが、有意差はなかった。不足していた情報、あったらよかった支援や自由意見の回答に、移行の苦労や医療機関の選び方など具体的なニーズが表れていた。

今回の調査結果を踏まえて、相談支援のフローを作成し、重要な支援の姿勢などを職員で再確認した。また、院内で医療ソーシャルワーカーが集積している情報を共有し、支援に生かす取り組みを始めた。

【結論】保護者は成人移行にあたり具体的な病院の提案を求めている。相談対応時は丁寧にニーズを聞き取り、多職種連携のもと、情報提供および支援をしていくことが求められる。